

土砂災害警戒区域等を示したリスク情報標識の 設置箇所拡大について

1 要旨・目的

「土砂災害リスクの認知度」を更に向上させるため、令和2年度より小学校等へ設置を進めてきた「土砂災害リスク情報標識」について、県民の目に留まる機会を増やすため、多くの方が立ち寄る市役所・町役場等の公共施設や地域の防災活動の際に活用が見込まれる防災拠点施設等へ設置箇所を拡大し、追加設置を行うことを報告する。

2 現状・背景

本県では、令和元年度末までに県内全域の土砂災害警戒区域等の指定を完了し、県民に常日頃から土砂災害リスクを認識していただくため、令和2年度より小学校の正門付近等にリスク情報標識の設置を進めている。

令和6年2月時点の県民意識調査における「土砂災害リスクの認知度」は70.5%であり、ポスター掲示やチラシ配布、SNSを活用したショート動画配信による周知啓発、砂防出前講座といった防災教育等とあわせて、認知度向上に向けた取組を更に強化する必要がある。

このため、日頃から小学校以外でも、居住地域の身近な災害リスクや避難所等の情報に触れる機会を増やし、「知るきっかけ」を提供する取組を拡大する。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 実施スケジュール等

令和2～5年度 小学校等への設置（土砂災害警戒区域等を有する420小学校区）

令和6年度 追加設置施設検討

令和7年度～ 関係機関調整及び追加設置工事

市役所・町役場、中学校、公園、災害伝承館等 90施設（予定）

事業費 約50百万円

(3) 表示内容

土砂災害警戒区域等の土砂災害リスクに加え、洪水や高潮による浸水想定区域、避難所等を表示。

4 今後の予定

関係機関調整が整った施設から、順次工事に着手する。

設置した標識については、地元自治会や自主防災組織等において地域防災力向上に活用していただくほか、標識画像を県ホームページ（土砂災害ポータルひろしま）へ掲載する。

5 その他

(1) 標識レイアウト (予定)



(2) 市町別設置数

市町名	設置済 (小学校区数)	追加 (施設数)	市町名	設置済 (小学校区数)	追加 (施設数)
広島市	111	9	安芸高田市	8	—
呉市	36	14	江田島市	6	8
竹原市	9	5	府中町	5	—
三原市	19	4	海田町	3	5
尾道市	24	1	熊野町	4	3
福山市	64	3	坂町	3	2
府中市	8	—	安芸太田町	4	—
三次市	21	8	北広島町	9	—
庄原市	19	8	大崎上島町	3	4
大竹市	4	—	世羅町	4	—
東広島市	34	10	神石高原町	5	—
廿日市市	17	6			
計				420	90

(3) 標識設置事例 (R2～R5 設置)



元宇品小学校 (広島市南区元宇品町)



河内小学校 (三次市小文町)